



憲法9条の会つくば

コミュニティニュース

2010. 5. 16 No.33

ゆ 結 い

発行「憲法9条の会つくば」

〒305-0005 つくば市天久保 1-10-12, 1-401

電話 090-3811-3753 Fax 029-857-6978

<http://peace.arrow.jp/tsukuba/>

いまこそ憲法9条を生かした外交で、

基地のない日本を実現させよう！

～～「米軍基地はいらない」は、沖縄県民の願い～～

新緑の美しい季節となりました。

5月3日は憲法施行63年目、各地で憲法集会が行われました。茨城では、千波公園はなみずき広場（水戸）で「2010年憲法フェスティバル」が開催され、つくばから約30名の方が参加しました。沖縄の仲山忠克弁護士による「もう基地はいらない！」をテーマの記念講演で「軍事（抑止力）による平和は、次の戦争への準備期間である」という言葉が強く印象に残りました。



普天間基地「移設」問題を巡って、4月18日には徳之島で島民の半数を超える15000人、4月25日の沖縄県民大会には9万人が集結し、抗議と怒りの声をあげました。このような中、昨年の総選挙で「国外、最低でも県外移設」を公約した鳩山首相は、5月4日に沖縄県を訪問、知事や市民等と会談し、県内「移設」と鹿児島県徳之島への一部移設という政府方針を表明しました。これは沖縄県民の民意をふみにじるものであり、ここでも県民の怒りは爆発しました。さらに5月7日には徳之島の3町長にも会いましたが、政府の移設案は拒否されました。

沖縄県内や県外への移設探しでは、問題解決できないことがはっきりしてきたのではないのでしょうか。沖縄の、国民の総意は「日本に米軍基地はもういらない、基地はアメリカにもって返してもらおう」ということだと思います。今こそ、国民主権と憲法9条の精神に立ち返り、普天間基地の即時閉鎖、撤去についての対米交渉を始めるよう求めたいと思います。

戦後65年、日米安保条約改定から50年が経過しました。憲法9条と米軍基地は相いれません。基地存在の根源となっている日米安保条約を考え直し、対等、平等の日米関係を築く時期にきているのではないのでしょうか。

憲法9条「改定」をめぐる問題では、3年前に自公政権により強行採決させられた改憲手続き法（国民投票法）が5月18日に施行となります。

この改憲手続き法は、国民の意思を正しく反映するうえで看過しがたい多くの欠陥が含まれているため、法の成立から3年後に施行と定められました。施行までの期間に、投票年令、公務員等の政治的行為の制限、最低投票率制度等々について十分検討し、法令上の措置をすること等が附則や附帯決議で義務づけられました。ところが、この期間にこれら事項について全く検討されていない状況です。このような改憲手続き法は、そのまま施行することは許されないものであり、廃止するか、無期限の凍結を行うよう要求していきましょう。



「結」33号のおもな内容

- 1面：今、憲法9条は
- 2面：賛同を拡げる運動、個人署名の経験あれこれ、地域の行動から
- 3面：井上ひさしさん追悼、憲法フェスティバル、文芸9条ほっとタイム、
- 4面：「戦争を想う、平和を想う」など

行 動 予 定

- 6月6日、(日)： 定例署名行動
11時半～13時 中央公園アルス図書館前集合
- 6月16日(金)：事務局会 19時～21時半 並木公民館
- 7月4日(日)： 定例署名行動
11時半～13時 中央公園アルス図書館前集合
- 7月18日(日)：定例会 10時～12時半 並木公民館

会の活動から

出会いと対話

・個人署名行動から・

N.Oさん： 予め飲み会を約束していた、30歳独身男性です。9月一杯で勤務先（株式会社、茨城県）をリストラ（嘱託契約期間満了）されることが決まってしまったので、今日は東京へ職探しに行った帰りとかで、いろいろ聴いてみるとノンポリながら秋葉原無差別殺傷事件に一部共鳴するところがあるなどチョット異端的な考え方の人でしたが、お酒を酌み交わしながら（大型連休の某日）2時間ほど世間話をする中でやっと署名に辿り着きました。→ということをやや高くついた1筆でした →でも今後につながると思えば安いかな・・・？

◆賛同人 2010年5月10日現在
総数 734名（市内551名）
◆9条署名 5月8日現在 累計：8470筆
4月定例街頭署名：17筆
つくば中央メーデー署名：311筆
個人署名：協力延べ52人
2009年2月からの累計：611筆

Y.Tさん： 先日、群馬吾妻の旧原町小中学校の同級会に参加して来ました。ハツ場ダムの話が出て、子供の頃、この吾妻川で遊んだことなど懐かしく語り合い、今これが壮大な無駄の象徴になっていることに、義憤の声が出された老人同級会でした。この場で「9条署名」を頼むと、級友のよしみもあって進んで協力してくれました。みんな「戦時中」飢えた子供の時代をすごしてきており、戦争の悲惨さをそれなりに体験してきた仲間です。みなさんも、同級会などでどうぞ「9条署名」を試みられては。

平和をアピール！ ☆つくば中央メーデーにて☆

五月晴れの5月1日、つくば中央メーデーに1100名の人々が参集。開会前の1時間、9人が行動、会場の参加者の3分の1弱に相当する311筆の9条署名をいただきました！ 当会代表の樋田さんは、核兵器廃絶の約束を再確認し、廃絶の道筋を探求する「核不拡散条約（NPT）」再検討会議への期待と、沖縄県民の普天間米軍基地はNO！の強い意思表示に応え、「憲法9条の会つくば」も「9条を守り、くらしに生かそう」と力強い決意表明をしました。今国会上程の派遣法は、法律の名で違法な解雇を容認することになると、JMIU 労組と同労組トステム分会からの訴えはとても印象に残りました。（事務局）

筑波地域憲法9条の会

・「すいとん」で集い・・・

桜の花の残る4月18日、筑波の9条の会の「すいとんを食べて9条を語る集い」に、はじめて参加しました。埼玉の春日部市よりひっこし、二度目の春を迎えました。子ども達の小さかった頃、共働きで忙しい日々を送っていた私達夫婦は、野菜と主食を一緒にとれる「すいとん」がなつかしくて、冷蔵庫の残り野菜を入れてよく作っていました。娘はその味を覚えていて、6才と3才になる孫達に時々作っているようです。当日は9名が参加し、大なべに二つ作った具だくさんの「すいとん」をおかわりしながらその味に舌鼓をうち、昔食べた「すいとん」の味の話に花を咲かせました。その後の会議の中で筑波地区の署名の経過報告があり、署名運動の中で住民とつながりを強くするひとつのきっかけとして、手作りで折り鶴や包装紙のゴミ箱などを準備するのもよいのではと、前向きな意見が出されました。次回予定している5月8日の署名運動の際に検討していくことになりました。その後参加者の山本さんより憲法9条と平和をめぐる最近の動きについてのお話があり、あらためて9条を守っていくことの大切さを痛感し、運動の大切さを感じています。

私も微力ですが行動して行こうと思っています。子ども達の生きる世の中が、平和が続くように！！ 筑波地域憲法9条の会はこの夏、講師を囲んで学習会を予定しています。少しでも多くの方に声をかけ成功させたいと思っています。（横内）

荃崎九条の会

・設立4周年記念集会・・・

荃崎九条の会設立4周年集会を、3月28日（日）、荃崎公民館研修室において開催しました。集会は、はじめにDVD「加藤周一さん 九条を語る」、自由討論の順に進められました。

「加藤周一さん 九条を語る」は、憲法九条を「守る」から「生かす」へ「平和生存権」にかけるメッセージとして、加藤さんのときどきの発言から九条の大きな意味を明らかにした映像で、「九条を日常に生かすための活動」の大切さを感じました。

自由討論ではまず、「憲法9条の会つくば」代表の伊藤清子さんが「憲法をめぐる動きと各地の活動」について報告されました。報告の中心は、この5月に施行される「憲法改正投票法」でした。この法律について、始めは参加者の多くはピンとこなかったようですが、伊藤さんの話で、改めて3年前の法案阻止運動を思い出し、「九条の輪」をさらに広げる重要性を再確認することができました。（野口）

九条の会「関東ブロック交流集会」の報告は、別刷りで「結」に同封しています！

追悼 井上ひさしさん

樋田 幸夫

「九条の会」の呼びかけ人の井上ひさしさんが、去る4月9日、肺がんで亡くなりました。心よりお悔やみ申し上げます。

呼びかけ人では加藤周一さん、小田 実さんについて3人目。いずれも傑出した人物で、特に武力の「抑止力」に抗して「文の力」を説いてきた、今の日本にとって、いや世界にとってたいへん貴重な大きな存在でした。

井上さんは小説も書きましたが、その本領は戯曲とその演出で遺憾なく発揮されたと言えます。氏は何よりも「言葉で勝負」することをモットーとしていて、その饒舌、軽妙で皮肉たっぷりの戯曲は、多くの人を笑わせかつ考えさせました。井上さんの劇を演じると、「笑いながら深く考える人間になっていく」と北林谷栄さんがおっしゃっています。テレビで核兵器の抑止力の話がでたとき、「抑止力は核でなく言葉です」との氏の発言に聞き手が「何故か」と質問すると、「人は良くも悪くも、すべて言葉で考えるからです」とさりと言われたが、この時私は「これだ」と快哉を叫んだものでした。平和を構築する力について加藤さんの言う「文」（勿論、文章の意ではない）、小田さんの言う「小さな人間たちの力」、そして井上さんの言う「言葉の力」、私たちがこのお三方の言の意味を、9条運動の実践の場で深め、「もし、どこかの国が攻めてきたら？」に類する素朴な現実論とにこやかに論戦できるようになることこそが、特に「言葉」を心のように大事にしてきた、井上さんへの最大の追悼ではないでしょうか。井上さん、平和へのメッセージをありがとう。



憲法9条を守り、「基地」撤廃こそ最大の抑止力！ ～憲法フェスティバルに参加して

会場に行くバスには、皆さん顔なじみの方々。そんなわけもあってか、世話役の方々から、とくに憲法の話などが車中でなかったのは、”釈迦に説法”という配慮からか？道路はGWの渋滞で、1時間ほど遅れて会場に着いた。会場の様子は例年と余り変わらない若年層の少ない、おなじみの参加者が目立ったものだった。これとは対照的に、この会場から離れた娯楽施設には、多くの家族連れや若者たちでにぎわっている別の世界がある。例年の眺めとはいえ、米軍基地が国民的課題になっているなかで、あらためて憲法への関心が、まだまだといった実感を味わったのは、私の癖みだろうか。

実行委員会代表の田村さんが、話の終わりにされた、県内の各地にある”9条の会”の発展のために”連絡会”を立ち上げるとの提案は、明日からの糧として会場に力強く響きわたったようだった。

「沖縄からみえるもの」と題して記念講演された、沖縄地主会弁護士の仲山忠克さんの話には、さすがに迫力と臨場感があつた。それは、聞く人をして、米軍基地・安保条約・憲法9条について、改めて考えさせられるような気がした。歴代の政権は、「水戸の御老公の印籠」のように、基地や海兵隊は、日本の平和と安全を守るために必要な「抑止力」と喧伝しているが、とんでもないこと。沖縄の海兵隊は「日本の防衛の任務を与えられていない」という米軍トップの証言が、米議会にあるとさえ言われている。憲法9条を守り、日本に米軍基地や米海兵隊のいないことが、何よりも日本の平和と安全の保障にとっての確固たる「抑止力」ではないだろうか。

“憲法フェスティバル”のような節目には、もっと若い人の参加があってほしい。柏の葉は、若葉が出るまで枝に残っているとされている。戦争体験者である我々高齢者も、次世代へのリレーがうまく行くまで、頑張らなければ、と思う一日であった。（米谷）

九条の会講演会：井上ひさしさんの志を受けついで ～日米安保の50年と憲法九条～

日時：6月19日（土）13:30 開会

会場：東京都千代田区 日比谷公会堂

講演：大江健三郎、奥平康弘、澤地久枝、鶴見俊輔

参加費：前売り 1000円、当日 1500円

申込方法：郵便振替用紙通信欄に以下を記載

「講演会入場券〇枚・氏名・住所・電話番号」

郵便振替口座：00180-9-611526

加入者名：九条の会 6月10日 申込締切

文芸9条 ほっとタイム

◇ 沖縄に 苦勞をかける 核の傘

太田 紀井子（龍ヶ崎）

◇ 憲法を 護れと母の 背が語る

大西 和子（石岡）

◇ 九条の死守を ドームと誓い合う

宮内 みの里（松戸）

憲法フェスティバルで発表された「茨城憲法川柳大会」の優秀作品の三句です。つくばからは、2名の方が入選しました。

戦争を想う、平和を想う

戦争から平和を念う ～ 元「満蒙開拓青少年義勇軍兵」として

小笠原 弘 (つくば市森の里)

私は天皇崇拜・軍国主義の一色の中で育ちました。周りの人は天皇のことを「天子様」と呼んでいました。毎年1月1日の新聞1面に載る白馬にまたがる天皇の写真には「大元帥陛下」と書かれていました。「現人神」である天皇は、たとえ新聞の写真でも粗末にすると罰が当たると教えられました。私はそっと、足で踏んでみた思い出があります。

私は15歳で、東北の貧しい山村の小学校を卒業と同時に、小学校ごとに人数を割り当てられていた「満蒙開拓青少年義勇軍」にかりだされました。そこで超国家主義と徹底した皇国史観をたたきこまれ、異国進攻の片棒をかつがされ、多くは命を失うはめになってしまいました。

始めは、茨城県内原村にあった訓練所で内地訓練。「天皇陛下弥栄(すめらみこといやさか)」を唱和し、日中は開墾と軍事訓練、雨の日は学科の講義を受けました。空には“赤とんぼ”と呼ばれた「少年航空兵」、地上には鍬と銃をとる「少年義勇隊」ともてはやされはしたものの、粗末な食事とスパルタ教育訓練に耐えられず、脱走や逃走をくわだてる者が続出でした。訓練所での初めての身体検査のときの屈辱は、今でも忘れません。少年たちは全裸、性病検査。局部を握ったり強くひっぱたり、後ろ向きに四つん這いになり肛門をのぞかれ糞便を採られ、終わると尻っぺたをぴしゃりとたたかれる、続いて裸のまま足紋・指紋をとられました。

3ヶ月の内地訓練を終え、大陸に渡る日がきました。幹部は「お前たちは 一気をつけ、上(か

み)天皇陛下の御子として、東洋平和の礎として、内地から移植される苗木である。せっかくここまで育成されたのだから脱落しないように、現地で枯れてはいかんぞ。立派に根を張って皇国の花を咲かせ 一気をつけ、陛下のご意向(おぼしめし)に沿い、実を結ぶように」と訓示しました。



満州に出發する満蒙開拓青少年義勇軍

満州に渡って、さらに3年間の厳しい現地訓練を経て、寧安県日新開拓団へ入植。その頃、戦争は全アジアへ拡大されており、出征する仲間もでてきました。現地住民から接収した家屋に分住し、そこから多数の団員が招集されました。そして1945年8月15日、はじめてラジオで「現人神」の声を聞き、敗戦を知りました。私は20歳でした。

敗戦後は幸いシベリアへの連行を免れたものの混乱で引き揚げが難しく、1年3ヶ月もの間、満州各地を転々とし現地農家の手伝いなどをして苦難を生き延び、コロ島から引き揚げ船に乗り、博多港へたどり着いたのは翌年11月でした。

最後に、私は「戦争の悲惨さ、悔しさ、怒り、そして平和」を表明したい。自身自体の体験と言葉で、世界がたどった戦争という局面の場で、どうしても戦争を憎み、平和を取り戻すために、今、憲法9条を盾に、持てる声を張り上げていきたい。

インフォメーション

- ◇ 筑波研究学園都市研究所・大学関係9条の会 第10回講演と対話のつどい
講演: 「2010年核不拡散条約(NPT)再検討会議と平和の流れ、憲法9条」
講師: 川田忠明氏 (日本平和委員会常任理事、日本原水協担当常任理事)
話題提供: KEK 九条の会

日時: 5月23日(日) 開会 午後1時30分

場所: 大穂公民館 視聴覚室

問い合わせ: Tel. 029-857-6593 (茅野)

- ◇ 第30回つくば市母親大会

日時: 6月27日(日) 場所: 茨城県立つくば工科高校

5つの分科会 10:00~12:15

平和分科会「谷田部の戦争の歴史を考える」

全体会 13:15~15:30

記念講演: 松元ヒロさん「世相を斬るメッセージ ☆笑って☆笑って☆考えるライブ」

問い合わせ: 029-852-4118 (実行委員会)

